

【情報公開文書】

作成日 2026 年 1 月 5 日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号：

課題名：採血合併症に関する研究

1. 研究の対象

2022年4月から2025年12月までに当院検査部の中央採血室で採血を実施した全ての外来患者さん

2. 研究期間

研究実施許可日～2029 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 20 年 月 日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

本研究では、当院検査部中央採血室にて記録された採血合併症記録に基づき、採血合併症に対して発生原因として考えられる要因を解析し、複数要因の中から合併症が起りやすい要因を特定することを目的とします。更には、得られた成果から合併症が起りやすい状況を作り出さないように採血者や採血部位、採血方法を工夫する取り組みを行い、合併症の発生率の動向を解析することを目的とします。

5. 研究方法

当院検査部中央採血室にて記載された採血合併症記録に基づき、患者年齢、性別、診療科、採血者、採血本数、採血回数、採血部位、さらに当院採血室で算出した採血者のレベル、患者の採血難度のデータを集積し、採血合併症の要因を解析します。

具体的には、全ての解析する要因のうち該当する割合を全て検討し、要因のうち合併症が起りやすいものが何かを特定します。更には採血合併症が起らない場合と起る場合とで有意差の有無も比較検討します。また、採血合併症の発生数は毎月記録し、要因特定が行われ、対策をとった後の発生状況の変化も比較検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者年齢、性別、診療科、採血者、採血本数、採血回数、採血部位、さらに当院採血室で算出した採血者のレベル、患者の採血難度のデータ

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われえないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は分野研究費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学大学院 形態情報解析学分野 藤代 瞳

連絡先：03-5803-5363, メールアドレス：fujishiro.aps@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学大学院 形態情報解析学分野 藤代 瞳

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）